

科目名 「 課題研究 」

| | | |
|------------|---|---------------|
| 学年 | 学期 | 科目責任者 |
| 3 | 前学期 | オーガナイザー 清水 武彦 |
| 科目ナンバリング | D-⑥-I-02 | |
| 単位数 | 1 | |
| 学修目標 (GIO) | 臨床症例報告書の作成および発表をするために、歯科衛生過程を振り返り、歯科衛生業務における疑問や課題を見つけ、資料や文献検索を行い、治療経過の考察をする。 | |
| 担当教員 | 副校長：*清水 武彦 教務主任：*井下田 繁子 専任教員：*中澤 広美, *岡元 明菜, *門脇 明美, *和田 由紀子, *鷹巣 美香 *学事委員 | |
| 教科書 | 指定なし | |
| 参考図書 | 「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方」 医歯薬出版 (株) *各自、症例検討に応じて必要な参考図書を準備すること。 | |
| 評価方法 (E V) | 履修態度(10%), 提出物 (10%), 課題レポート (80%) 総合的に評価する。 | |
| 学生へのメッセージ | 対象者の健康支援をしていく上で行動変容に結び付けるために、まずは問題の発見および解決方法を考えなければならない。またそこからのアプローチ方法の検討も必要である。この課題研究を通じて歯科衛生業務の重要性を認識し、それを伝えられるような人材になって欲しい。また卒業後も、常に研究心を持って業務に取り組むことを臨む。 *各自データ保存のために課題研究用のUSBメモリーを準備すること。 データ管理は慎重に行い、医療人としての倫理に配慮すること。 *日程の変更あり。後日、連絡する。 臨床実習の経験を活かして以下のことを教授する。 | |
| オフィスアワー | 17:00~18:00 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容 | 担当教員 |
|----------------|--------|--|--------------------|
| 第1回 4/4 (火) | 課題研究とは | 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な研究計画立案および作業計画案の作成方法を知る。 【行動目標 (SB0s)】 ・本授業の学修意義が説明できる。 ・研究計画が立案ができる。 ・作業計画が立案ができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学修項目】 予習 (45分) ・2学年後期保健指導論学んだ歯科衛生過程について復習をする。 ・2学年保健指導論で作成した計画シート (配布プリントも含) を準備すること。 ・学内パソコンIDおよびパスワードを順部すること。 復習 (45分) 患者計画をたてること。 【アクティブラーニングの有無】 有 【学修方略 (LS)】 講義・演習 | *清水 *井下田 *中澤 |

| | | | |
|---|-------------------------------------|---|----------------------|
| <p>第2回 4/11 (火)</p> <p>第3回 4/18 (火)</p> <p>第4回 4/25 (火)</p> <p>第5回 5/2 (火)</p> <p>第6回 5/9 (火)</p> <p>第7回 5/16 (火)</p> <p>第8回 5/23 (火)</p> <p>第9回 5/30 (火)</p> <p>第10回 6/6 (火)</p> | <p>小集団指導 (計画・実施・ 評価・改善)</p> | <p>【授業の一般目標】 小集団指導のために、指導媒体を作成し指導方法を修得する。 リハーサルを行い、全体の流れを確認し不備がないようにする。 リハーサルをもとに、指導媒体および指導方法を修正できる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 指導用媒体を完成させる。 実際の小集団を想定して練習できる。 講話者とアシスタントの役割を分担できる。 リハーサルを想定した最終チェックを行う。 リハーサルを実施できる。 指導媒体の作成と指導方法を再考する。 より良い指導方法をグループ内で討議する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【準備学修項目・時間】 指導媒体を完成させる。(60分) メンバー全員が指導内容を把握していること。(60分)</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> | <p>* 中澤 * 岡元</p> |
| <p>第11回 6/13 (火)</p> <p>第12回 6/20 (火)</p> | <p>小集団指導 (実施・評価)</p> | <p>【授業の一般目標】 対象者に応じた対応を身につけ、小集団指導の実際を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 大きな声ではっきりと話すことができる。 全体を見て状況に応じた指示を出すことができる。 決められた時間内に実施することができる。</p> <p>【準備学修項目・時間】 小集団指導に備え、練習をしておくこと。(90分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 別途指示</p> | <p>* 中澤 * 岡元</p> |
| <p>第13回 6/27 (火)</p> | <p>臨床課題研究の 展開と作業①</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>【授業の一般目標】 臨床課題研究を進めるために必要な文献・資料検索方法を知る。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ・文献の検索することができる。 ・必要資料を検索することができる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目】 予習 (15分) 学内ポータルサイトへの接続方法の確認 復習 (60分) 患者計画および課題の抽出を行い、計画書を作成する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義・演習</p> | <p>* 中澤</p> |

| | | | |
|--|---------------------------|--|------------|
| <p>第14回 7/4 (火)</p> <p>第15回 7/11 (火)</p> | <p>臨床課題研究の 展開と作業②</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 プレゼンテーションのノウハウを修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・パワーポイント上での見やすい字体, 大きさ, 文字数, 適切な色を判断できる。 ・臨床課題研究を進めるために研究計画および作業計画の再検討ができる。 ・臨床課題研究をまとめるために必要な文献および資料検索ができる。 ・スライドの原案が作成できる。 ・医療人として倫理的配慮ができる。 【準備学修項目】 予習 (45分) ・歯科衛生過程の復習 ・本授業第1回目2回目の復習 ・パワーポイントの使用の確認 復習 (60分) ・患者診療の状況の確認をしておくこと。課題レポートのテーマを決めること。 【アクティブラーニングの有無】 有 【学修方略 (LS)】 講義・演習 *講師によるプレゼンテーションの実際をみてもらう。</p> | <p>*中澤</p> |
|--|---------------------------|--|------------|